

第5号

発行者：雲興山 龍谷寺 住職 成田隆真

# 謹賀新年

龍谷寺住職 成田隆真



竹内 栖鳳《申》龍谷寺蔵



龍谷寺 絵馬

## 「日々是好日」

1年の始まりにご紹介したい言葉があります。  
「日々是好日」です。これは、毎日をかけがえのない日となるように生きるという意味があります。

1年の中にも晴れの日と雨の日、時には風雨が強まる1日もあります。晴れの日には晴れの良いことがあり、雨の日にも雨の日にしか味わえないものがあります。「日々是好日」とは、それぞれの良い所に目をやる、その大切さを説いています。

人生もまったくこれと同じです。物事がうまく運ぶ日もある一方、何をやってもうまくいかない日もあります。楽しみに包まれた1日も、苦しみに襲われた1日も、人生の中においては同じ1日です。それはどちらが良い悪いということではなく、どちらも自分にとってはかけがえのない大切な1日なのです。

良い1日と悪い1日。それを決め付けているのは、実は自分自身の思い込みに過ぎません。例えば同じことが起こったとしても、それを喜びと感ずる人もいれば、苦しみと感ずる人もいます。起きたことそのものではなく、心が善し悪しを決め付けているのです。

もしもあなたが今、喜びの感情にあふれているのであれば、少し頭を垂れて歩くことです。いたずらに喜びを喧伝けんでんすることなく、つつしみ深い振る舞いを心掛けることです。その姿に周りの人は、信頼や思いやりの心を感じ取るものです。

反対に今、苦しさを抱えているのであれば、頭を上げて歩くことです。うつむくことなく、まっすぐに前を見据えて堂々と歩く。その姿が周りの人たちに勇氣と希望を与えることとなります。

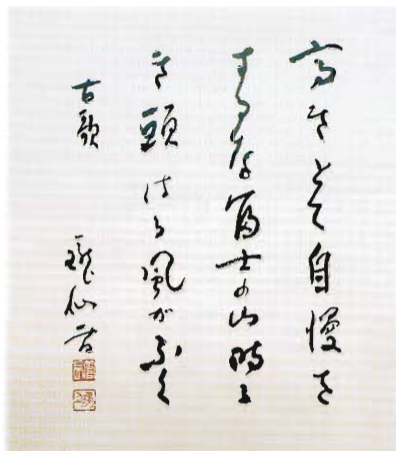
雨の日にこそ、明日の晴れを信じて前を向くこと。今年も毎日をかけがえのない日となるように過ごしていきましょう。

合掌

- ・龍谷寺で出合う言葉
- ・絵馬



高階瓏仙禪師



### 龍谷寺で出合う言葉

高きとて自慢を  
するな富士の山 時ど  
き頭 はる風がふく

この古歌を書いたのは、高階瓏仙禪師です。高階瓏仙禪師は、明治9年生まれで永平寺と總持寺の貫首を歴任された偉大な禅僧でした。龍谷寺36世成田芳髓大和尚とも長きにわたって親交があり、成田芳髓大和尚は高階瓏仙禪師を目標にして人生を歩んだと聞いています。

この古歌は、「富士山を詠んだ句です。3行目の「はる風」は、「春」と「張る」(ひっぱたく)のかけ詞として使われています。

この度、黄ばんでいた古い色紙を掛け軸に表装してみました。更紗や間道の古布を使った表装は、一段とこの書を生き生きと蘇らせてくれました。

4月2日の芳桜茶会の折に披露するつもりです。お楽しみになさってください。

### 龍谷寺オリジナル絵馬



長い間、絵馬掛けがなく、仁王様の柵にかけていた絵馬でしたが、絵馬を奉納する方が増え、暮れに道了様の前に絵馬掛けを設置いたしました。

そもそもなぜ絵馬というのか、その由来を紹介します。

日本では古くから馬は神様の乗り物(神馬)とされ、神聖視されてきました。祈願や祭礼のときには、神の降臨を願ってお寺や神社に生きた馬を奉納する習わしがありました。しかし、すべての人が馬を奉納できるわけではありませんでした。そこで、生きた馬の代わりに土像の馬や木製の馬が使われ、いつしか馬を描いた絵馬に変わっていききました。それが絵馬の起源です。

絵馬の原形は奈良時代からあり、

発祥の社とされているのは、京都の貴船神社です。

馬以外の絵馬が出てきたのは室町時代でした。安土桃山時代になると狩野派などの有名絵師による豪華なものもあらわれ、ここに絵馬をかけるための特定の建物、絵馬堂も境内に建てられるようになりました。現存する絵馬堂で最も古いのは、豊臣秀頼が1608年に建てた京都の北野天満宮です。

また神社に奉納された絵馬や武者絵などを掲げた近世以降の絵馬堂も多くの参詣者の目を楽しませました。一方で参拝者自身が書いた小さい絵馬は、絵馬掛けや拝殿内に吊るされました。それが現代の絵馬に繋がっています。

#### 絵馬の書き方

絵馬は仏様に自分のビジョンや夢、願いを宣言し、仏様にお供えて感謝することが絵馬を効果的に活用する秘訣です。

1. 絵馬の裏面に願い事を書く
2. 黒色の油性マジックで書く
3. 願い事は自分が本当に叶えたいことを**1つだけ書く**
4. わかりやすく簡潔に書く  
「合格しますように」ではなく、「**合格する**」と自分のなりたい姿を書く
5. 名前や住所を書く  
(イニシャルや県だけでもOK)

・日進桜楓霊苑  
開苑20周年記念事業



## 日進桜楓霊苑開苑20周年記念事業のご挨拶



日進桜楓霊苑



10周年記念植樹 雲興の松

日進桜楓霊苑は平成8年、周りを美しい緑に囲まれた寺領に開苑、以来20年の歳月を重ね、平成28年7月1日に設立20周年を迎えます。曹洞宗管長と曹洞宗大本山總持寺（横浜市鶴見区）貫首を務めた36世の成田芳髓は皆様が安心してお参りできる安息の地を造ろうと創建、現住職の38世成田隆真まで一貫して人に優しい、自然に優しい霊苑の運営に心がけて来しました。

霊苑は眼下に日進市の街並みを望み、素晴らしい眺望が楽しめるとともに、春は桜、秋は楓が皆様の心を豊かにしてくれます。

また、現在約900基が建立されています。これもひとえに、皆様方のご理解とご支援の賜物と心より感謝しております。

日進桜楓霊苑では、来る開苑20周年に向け、地域社会に親しまれ、貢献できる霊苑として一層の充実を目指していきます。私どもは20周年を新しい霊苑の幕開けとしてとらえ、少しでも多くの想いやご要望にお応えできるよう、努力してまいります。

これからも皆様方から力強いご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

雲興山龍谷寺 住職 成田隆真  
 (株)大興企画 社長 平岡 寛

## 日進桜楓霊苑開苑20周年記念事業 ご案内



### 福聚（しあわせ）春まつり

4月17日（日） 10時から15時まで

福聚観音は、観世音菩薩として慈悲の目で生きとし生けるものに対し、その福德を惜しみなく与え、すべてのものの幸せを願っておられる観音様です。

◎福聚観音特別法要

◎桜楓霊苑開苑20周年記念法要

◎弘法様

◎桜楓霊苑現地見学会開催

日進中学吹奏楽部の演奏（午前）と、小さい子どもたちからお年寄りまでがメンバーの尾張太鼓の演奏（午後）をお楽しみください。また、話題のマルシェが来店し、フリーマーケットも開催します。

### 道了秋まつり

10月29日（土） 10時から15時まで

道了様は、皆さまの願いをかなえてくれる心願成就の仏様です。

◎道了様特別法要

◎龍谷寺本堂でのコンサート

◎桜楓霊苑現地見学会開催

◎日東バザー（同時開催／マルシェ、フリーマーケット）

福聚観音は昭和59年（1984）4月、大本山總持寺副貫首だった当山第36世得道成田芳髓（81）が宗教法人龍谷寺諸堂建設総合整備事業として発願、昭和61年（1986）4月、建造されました。寄進して頂いたのは、東京金花舎社長 故 加藤子明様でした。



平成28年 龍谷寺 年間行事のごあんない

- 1月1日(祝・金) 元旦祈禱
- 2日(土) 年始受付、平成28年法事受付
- 11日(祝・月) 成人の日 午前10時から  
大般若祈禱会
- 2月1日(月) 涅槃図展覧
- 15日(月) 開山忌
- 3月21日(祝・月) 涅槃会(ねはんえ・お釈迦様が亡くなられた日)
- 4月2日(土) 春分の日 午前10時から 春彼岸会法要
- 4月17日(日) 第18回芳桜茶会 午前10時から午後3時
- 7月2日(土) 桜楓霊苑20周年事業 福聚(しあわせ)春まつり
- 8月1日(月) 日東夏祭り
- 14日(日) 盆棚経
- 15日(月) 盆大施餓鬼会
- 9月22日(祝・木) 秋分の日 秋彼岸会
- 10月29日(土) 道了秋まつり・日東バザー
- 11月23日(祝・水) 水子供養会
- 12月5日(月) 永代供養墓「緑」供養会 午前10時から
- 8日(木) 成道会(お釈迦様が悟りを開いた日)
- 31日(土) 除夜の鐘打鐘 午後11時45分から



龍谷寺 永代供養墓「緑」

新春 大般若祈禱会のご案内

今年も1年の無病息災を祈り、家庭円満を願う大般若祈禱会を厳修します。法要終了後は、無病息災を願って、恒例の「大根炊き」と「甘酒」を振舞います。

【日時】平成28年1月11日(祝・月)午前10時

第18回「芳桜茶会」のお知らせ

そよ風に花の香りが運ばれる龍谷寺境内で、一服のお茶をお楽しみください。

【日時】平成28年4月2日(土)

午前10時から午後3時

【お茶券】 前売り券は2月ごろから販売

一席600円 二席1000円

◎当日は一席券のみ販売します。

【同時開催】

写経奉納会、梅花流詠讃歌奉詠

芳桜子ども日本舞踊教室発表

芳桜会ピアノ教室発表

芳桜書道会展示

平成28年度

「梅花流全国奉詠大会」開催

【期 日】平成28年5月17日(火)から19日(木)

【会 場】富山市総合体育館

※詳しくは龍谷寺までお問い合わせください。

☎0561(72)0012



発行所 雲興山龍谷寺  
〒470-0102  
愛知県日進市藤島町寺下甲29  
TEL 0561(72)0012  
FAX 0561(72)0232  
発行者 成田隆真

龍谷寺では日本文化を継承していこうと、様々な文化活動を行っています。皆様のご参加をお待ちしています。

❖芳桜書道会

毎週土曜日

午前10時から正午

午後2時から4時

本堂下客殿にて

月謝 大人3000円

小人2500円

❖写経会

毎月第3金曜日

午後1時から3時

本堂下客殿にて

志納料1000円

❖梅花流詠讃歌を歌おう

毎月1回

午後1時から3時

本堂下客殿にて

❖芳桜茶道会

毎週土曜日

午後1時から5時

心月庵茶室にて

❖芳桜子ども日本舞踊教室

土曜日

日東保育園内

【指導】花柳東風香先生